



4/16-17
BIWAKO
SPORTS LAND



5/28-29
AUTO PARADISE
GOTENBA



6/18-19
FESTIKA CIRCUIT
MIZUNAMI



7/23-24
KOBE
SPORTS CIRCUIT



8/27-28
NAKAYAMA
KART WAY



10/22-23
SUZUKA
CIRCUIT



酒井夢良、試行錯誤の中山大会 最終戦に向けて気持ち新たに！

2016年 全日本カート選手権 FS-125 西地域 第5戦

■開催日：8月27～28日 ■開催場所：岡山県・中山カートウェイ ■天候：曇り ■路面状況：ドライ ■参加台数：21台

全日本カート選手権西地域の最終戦となる第5戦は、8月28日岡山県の中山カートウェイで開催された。このコースはストレートのブレーキングから急激に横Gがかかるコーナーや縁石を使い跳ねながらクリアするタイトなS字など、体力が要求されるレイアウトが特徴で、暑さによってドライバー、エンジン、タイヤを消耗させることなく最後まで勝負できる状態に保てるのが最大のポイントとなる。金曜日は強い日差しと猛烈な暑さにより路面温度が上昇し、ハイグリップタイヤのゴムが路面に乗り始めたが、最終セッションの突然の豪雨でゴムが流され路面がリセットされた。土曜日は晴れたものの暑さは落ち着き、日曜日は曇り空で涼しく、夏の全日本レースとしては異例のコンディションとなった。タイムトライアルで第2グループの酒井は公式練習でタイムトライアルのシミュレーションを行い、セッションが始まるとすぐさまコースに入り新品タイヤの表面に熱を入れてグリップ力を高めた。混雑する前にアタックする作戦で、狙っていたドライバーがコースインするとすぐに後ろに付いて何度もアタック、途中他車が割って入るシーンもあったが、少し間隔を取りながらラインをトレースし粘り強く走行した。結果は30秒921でグループ6位。路面コンディションの影響で第1グループのタイムが速かったため総合では15位となった。



YAMAHA Racing Jr

ヤマハレーシングのジュニアチームとして全日本カート選手権 FS-125部門の選手サポートを行うことにしました。本年は同西地域に参戦する酒井夢良選手のサポートを行います。

尚、当プロジェクトは、サポートするチームは固定せず選手に対するサポートとし、毎年ヤマハが支援する選手を選考します。

▶ 監督	高橋 和則
▶ アドバイザー	北條 裕
▶ ドライバー	酒井 夢良



第5戦 タイムトライアル：15位 予選：12位 決勝：10位

予選ヒート (17周)

17週の予選ヒートでは、スタート直後の2コーナーで他車と接触しながら立ち上がりポジションを落としたが、その後着実に追いつき始めた。「マシンの調子が非常に良かった」という酒井は、2コーナーを中心に前車を次々にオーバーテイクし順位を取り戻すと、更に3台を抜いて12位でフィニッシュした。

決勝ヒート (30周)

決勝ヒートのスタートはアウト側グリッドとなった。タイトな最終コーナーでローリング中にも駆け引きが行われる中、酒井はスタートで少し出遅れたもののポジションをキープした。

決勝でも2コーナーで1台をパス、前でバトルが起きた際もインサイドをキープしてポジションアップした。30周というロングランで、終盤まで第2集団の中で前車にくらいつきながら10位でフィニッシュした。

2016年 全日本カート選手権 FS-125 西地域 第5戦 リザルト (21台)

Pos.	No.	Driver	Team	Lap
1	15	小出 峻	HRS JAPAN	30
2	23	上田 裕也	NEXT-ONE Racing	30
10	13	酒井 夢良	YAMAHA Racing Jr	30

高橋 和則 監督

一ヶ月前の練習で良いタイムが出て手応えを掴んでいたのですが、レースウィークでは迷いが出てしまいました。練習走行のイメージを煮詰めて臨めば他のドライバーのラインなど関係ないのに、気にして調子が崩れた感じです。自分が速いという自信を持ってセットに対しても意見が言えるようになります。今は迷いで霧の中にいるような状態でしょうが、一人で考える時間も必要ですし、プレッシャーも乗り越えてこそ成長するものです。

最終戦では順位に拘らず、今年一年で覚えたことを出し切り、満足いくレースをしてほしい。がむしゃらなパワーある走りを見せて、自分との勝負に勝ってもらいたいですね。

73 酒井 夢良 / Yura SAKAI

AGE:14



今回は以前のレースビデオを分析し、晴・雨共に自分なりの改善点を持って臨みました。

練習ではラインが定まらずタイムが出なかったのですが、予選で2コーナーでパッシングするまでの流れを最終コーナーから意識した結果、抜くことに自信が付きました。マシンの調子も良かったし決勝はスタートがチャンスだと思っていたのに、アクセルを踏み切れなかったのが悔しいです。あそこで抜けていれば流れに乗っていたと思います。

レースウィークの練習の組み立て方、セットに対して自分の意見を出すことなど課題が多いのですが、次回が最後なので、もっと貪欲に本気になって考えて、表彰台の一番高い所を目指して全力で走りたいです。